

被災地における学校給食用食材の 調達支援事業を実施します



学校給食の現代的課題に関する調査研究

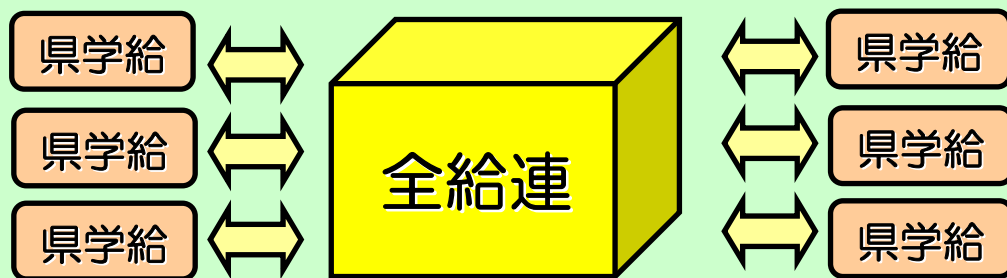
東日本大震災により、多くの学校が損壊し学校教育活動が停止した被災地域では、一日も早い学校及び学校給食の再開が緊急の課題となっています。とりわけ、学校給食については、食材製造工場の損壊、物流機能の低下、福島第一原子力発電所の事故に伴う一部食材の出荷制限など、給食用食材の調達が困難となり、学校給食を実施できない状況も見受けられ、円滑に食材を調達するためには、近隣や県内の調達先に限らず全国的な調達が必要となっています。

こうした状況を踏まえ、文部科学省では、被災地における学校給食用食材の調達を現代的な課題ととらえ、全国学校給食会連合会と連携し、学校給食用食材の調達支援事業を実施します。

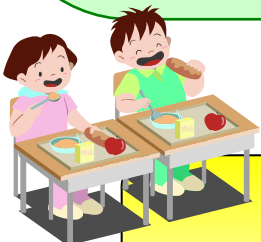
被災地における学校給食用食材の調達支援

全国学校給食会連合会のネットワークを活用した食材調達 (全国学校給食会連合会へ委託)

全国学校給食会連合会のネットワークを活用し、給食用食材の調達が困難な地域と他の地域を結びつけ、食材の調達支援を図ります。



課題への対応



学校給食用食材の安定的確保
学校給食の円滑な実施